

### 3 産業を活発にし、働く場を充実します

#### ( 戦略 )

- 合併と同時期に開通した東海環状自動車道の内側の名古屋都市圏をターゲットに、戦略的に産業振興を図ります。
- 新市を貫く南北道路である国道257号は東海環状自動車道の外側の環状道路であり、それを軸に製造業や農業、林業、畜産業、石材業等を展開し、中央自動車道を介して東海環状自動車道の内側の名古屋都市圏にその産物売り込んでいきます。
- 逆に、東海環状自動車道沿線及びその内側からこちらに来ていただいて、国道257号やふるさと椿街道周辺で広域的に観光を楽しんでいただくことにより、観光振興を図ります。
- 東海環状自動車道が製造業を展開する「生産の道」なら、その外側の環状道路である国道257号は、安全な食糧や人にやさしい地場産品を供給するとともに、豊かな自然や文化を提供する「癒しの道」です。
- 製造業や農業、林業、畜産業、石材業、観光業等を振興することにより市民の購買力を高め、身の回りの商業を活性化するとともに、まちへの交通利便性の向上と相まって、「まちの顔」としての中心市街地の活性化を図ります。

#### ( 各論 )

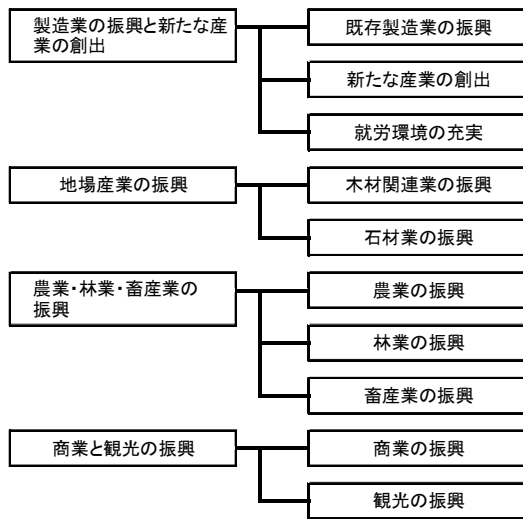
- 製造業については、まず既存製造業の課題をしっかりと受けとめ、官民連携してその解決に努め、その活力を維持します。その際、東海環状自動車道沿線の製造業とのさらなる連携をめざします。
- 既存製造業の活力を基盤に発生する新たな産業の芽を育てます。
- 製造業を支える人材については、就業者数の確保とともに技術の伝承を通じて、その能力の維持開発に努めます。
- 農業・林業・畜産業などの一次産業や製材業、木工業、建築業、石材業などの地場産業については地産地消を推進し、それを基盤にブランド力を高めて名古屋都市圏、さらには全国に売り出します。

- ブランド力を高めるにあたっては、既存の優れた取り組みから学び、それを広めていくことにより、新たなものの創造へとつなげていく、このブランド化により付加価値を高め、所得を地元に着させます。
- まちに公共複合施設と駐車場を整備するとともに、歩いてみたくなる街路を整備することにより、まちのにぎわいを取り戻します。
- 観光地の魅力を高め、交通、情報サービスにより来やすくし、観光地のもてなしの心の向上と相まって広域観光を振興します。

#### (まとめ)

- 各産業の自助努力を前提に、市役所は各産業の現場の声をしっかりと受けとめ、その課題を解決するため、各種条件整備や基盤整備など、ソフト・ハード両面から行政として担うべき役割を積極的に担い、「**産業を活発にし、働く場を充実**」します。

## 施策の体系



### 3-1 製造業の振興と新たな産業の創出

#### 既存製造業の振興

- ◆ 道路交通網、情報通信網等の基盤整備に努めるとともに、市内における工場の適正配置や企業誘致をすすめます。
- ◆ 住宅施策の推進や企業ニーズの把握など、市内に立地する企業の振興を図ります。
- ◆ 高度な技術・技能の伝承や人材育成に対する支援体制の強化に努めるとともに、企業が求める情報収集の充実や現場主義による相談体制の強化に努めます。

#### 新たな産業の創出

- ◆ 産業と大学の交流の場づくりや異業種交流をすすめるとともに、東海環状自動車道を活かした西三河・豊田方面等との産業交流を促進します。
- ◆ U・Iターン者等の高い能力やアイデアを活かした新たな産業おこし等を促進します。

## 就労環境の充実

- ◆ 若者の地元定着促進、ニート・フリーター対策、子育てにより退職した人の再就職支援など、様々なニーズに応える雇用環境づくりをすすめます。
- ◆ 「団塊の世代」をはじめ優れた「技術・技能」を持つ人材の有効活用を図るとともに、高齢者が生涯を通じて働くことができる仕組みをつくりまします。
- ◆ 勤労者、企業の立場にたって、雇用対策、能力開発、資格取得、福利厚生の実等幅を持った支援を行います。

### 3-2 地場産業の振興

#### 木材関連業の振興

- ◆ 付知や加子母地域等のひだの匠の流れを汲む伝統技術を活かした木工業、建築業、製材業の振興を図り、これらの製品や技術の売り込みを強化するとともに、東濃ヒノキを活かした産直住宅とタイアップした形で木材関連業の活性化を図ります。

#### 石材業の振興

- ◆ 建築物の内外装等の建築用材、神社の鳥居や墓石、燈籠、オブジェなどの様々な「みかげ石製品」のブランド化と情報発信に努め、蛭川や苗木地域等の花崗岩を利用した石材業の振興を図り、産業観光の活性化につなげます。

### 3-3 農業・林業・畜産業の振興

#### 農業の振興

- ◆ 合併のメリットを活かした安全で独自性の高い農産物の安定供給（安全で高い栄養価を低コストで提供）から、地産地消による基礎的な消費を確保し、中津川ブランドを育てるとともに、これにより全国に展開し生産拡大を図ります。

- ◆ 農業経営の安定化や農地の有効利用等のため、農業生産のための法人組織の育成を図るとともに、補助金に頼らない団体等の先進的な取り組みを学び、地域全体に広めていきます。
- ◆ 体験農業や観光農業などグリーンツーリズムを推進し、都市と農村の交流を促進し、農山村地域の活性化を図ります。

### 林業の振興

- ◆ 木材に関する付加価値をできるだけ林産地に留めるため、東濃ヒノキの産直住宅を推進し、さらなるブランド化を図ります。このため、伝統的な木造建築の良さや産直住宅の品質の高さなどのPR等に努めます。
- ◆ 間伐を促進し、災害に強い、優良材が育つ山づくりをすすめます。また、公共事業等における間伐材の利用促進や新たな用途の開拓をすすめます。

### 畜産業の振興

- ◆ 確実なトレーサビリティ（生産から流通までの履歴）により、安全な畜産物として飛騨牛等を生産し、地産地消を推進することで、中津川ブランドの確立につなげ生産拡大を図ります。

## 3-4 商業と観光の振興

### 商業の振興

- ◆ 事業を営む市民や事業所の自助努力を前提に、中心市街地活性化基本計画に基づく公共複合施設、駅前の整備等の中心市街地の整備に努めます。
- ◆ 街路、駐車場の整備や景観の保全等により楽しく買い物ができる環境づくりをすすめ、商店・商店街の活性化を図ります。

- ◆ 和菓子をはじめとする既存の中津川ブランド商品の情報発信、定着化に努めるとともに、合併により幅広くなった特産品のさらなるブランド化に努めます。
- ◆ 中山道まつり、ふるさと馬籠ごへー祭り、椀の湖そばの花まつり、森林の市、産業祭などの四季折々のイベントを推進し、それらを起爆剤として活用しながらにぎわいを取り戻します。

### 観光の振興

- ◆ 豊かな自然や独自の歴史文化に裏打ちされた広域の個性豊かで魅力あふれる観光資源のさらなる魅力アップとネットワーク化に努めます。
- ◆ 古道と歴史文化遺産、自然を結びつけたウォーキングコースの道づくりをすすめ、自然と歴史文化を体感できるコースとして広くアピールするなど、観光客の誘致に努めます。
- ◆ 観光客の「行き易さ」に着目した交通や情報のアクセスに関するサービスの提供に努めます。
- ◆ 「もてなしの心」(ホスピタリティ)による、人情味あふれる中津川のイメージづくりをすすめ、観光客のリピーター化を図ります。